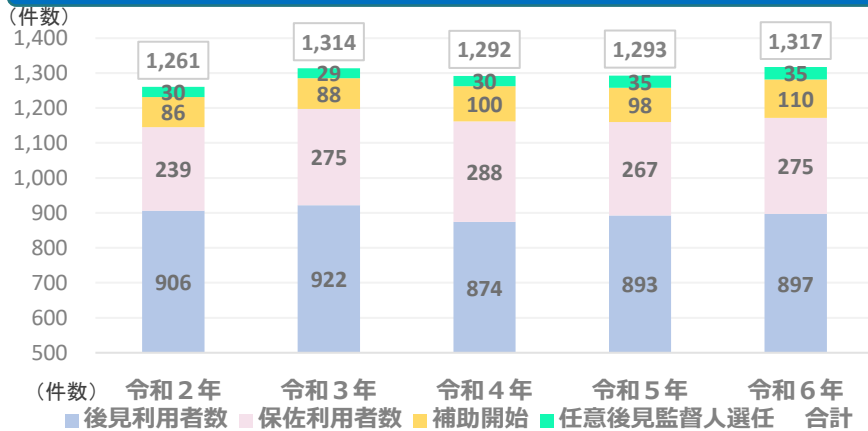


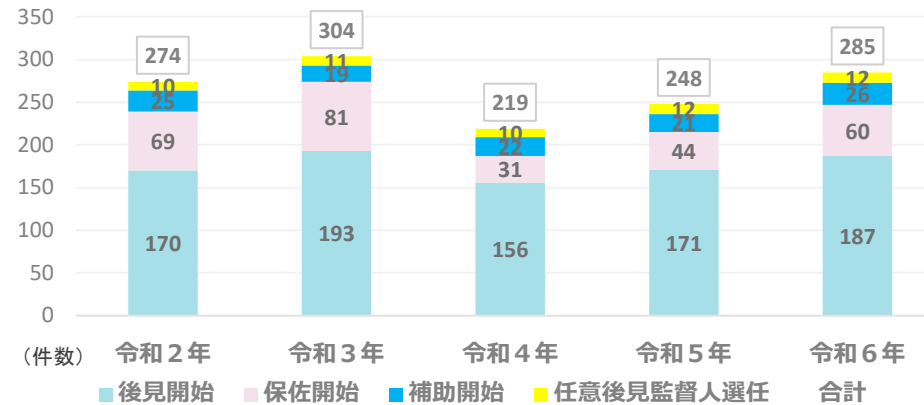
1 成年後見制度の利用者の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

大田区に住民票がある方の成年後見制度の利用者数は、ここ数年微増であり、令和6年は1,317人で、都内で3番目に多い。

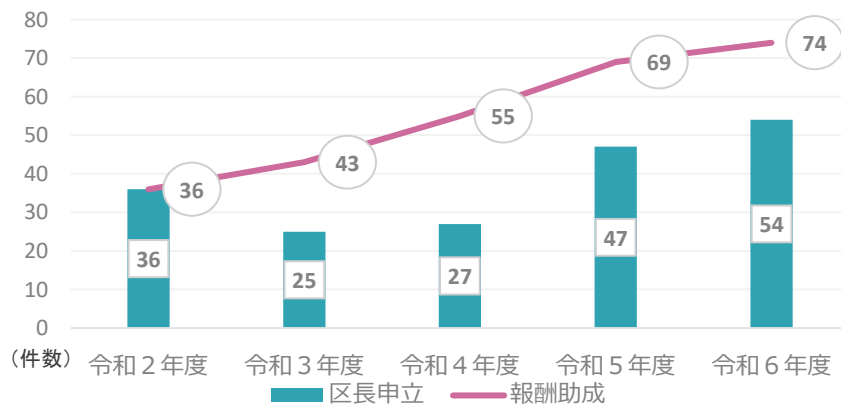
2 成年後見制度の申立件数の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

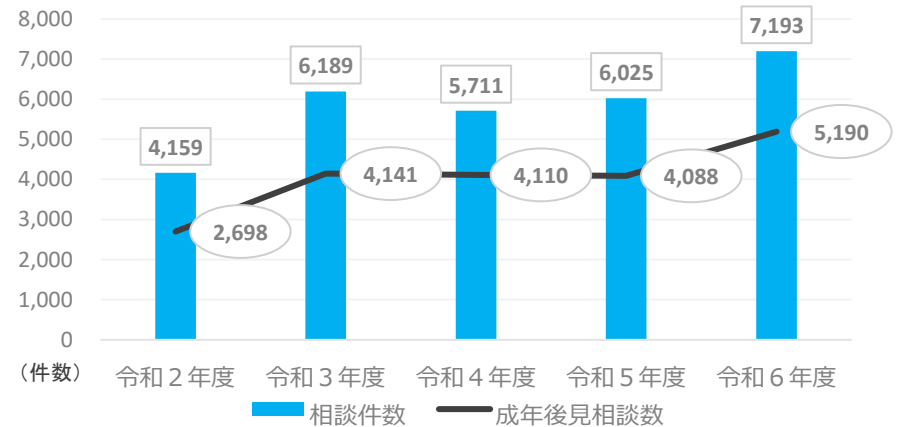
大田区に住民票がある方の東京家庭裁判所に成年後見制度を申立てした件数は、年間200～300件で推移している。令和6年は285件で、都内で1番多い。大田区は保佐・補助の割合が高く、早期に申立てに繋がっていることがうかがえる。

3 区長申立・後見報酬助成件数の推移



区長申立の件数は、令和3～4年度はコロナ禍で少なかったが、令和5年度からは増加しており、コロナ禍以前よりも増えている。報酬助成の件数はこの数年かなり伸びており、利用支援制度が浸透している。

4 おおた成年後見センター相談延件数の推移



おおた成年後見センターに寄せられる相談のうち約7割強である5,190件が成年後見制度に関するものとなっている。老いじたく関連の相談は554件である。